

発注業務評価表（表 紙）

発注者・受注者間のパートナーシップ向上のために

登録No. □□□□□□□□

工 事 概 要

工 事 名												
工事場所	県			市（郡）			町			地内		
請負金額	当初 ￥			変更 ￥			（千円：税抜き）					
工 期	当初	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日	（	日間）
	変更	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日	（	日間）
工種区分												
発注方式												
総合評価					重点監督							

工事成績評定点

発 注 者

発 注 者	
発 注 機 関	
発 注 部 署	

受 注 者

会 社 名	
-------	--

発注業務評価表

発注者・受注者間のパートナーシップ向上のために

登録 No□□□□□□□□

〈評価手順〉

◆「評価細項目」の「評価点」は次の手順で判定してください。

- ①「評価細項目」の下に記載している「事例」に該当があれば、該当する全ての項目の□にレ点マークしてください。
 - ②「評価細項目」に該当するが、その内容が記載事例にない場合は、「その他」の項目の□にレ点マークし、その内容を()内に簡潔に記載してください。
 - ③これらの事例の多少や支障の程度に照らして、次の判定を行ってください。
当該「評価細項目」に関する内容について、
 - ・「満足できる」場合は最大値
 - ・「満足できない」場合は最小値(0点)
 - ・「やや満足できない」場合は中間値
 - ④当該受注工事に該当しない「評価細項目」については、「減点がない」ことになるので、「最大値」を選択してください。
- ◆「発注業務評価表(総括表)」には次の手順で記入してください。
- ①各「評価細項目」毎に、判定した「評価点」を記入してください。
 - ②「評価点」が「最小値(0点)」となった「評価細項目」については、主たる要因となった事例を1つだけ選択して、その記号を「指標」欄に記入してください。
 - ③「評価点」の小計、合計を記入してください。

1. 契約の内容 32点満点

A 積算内容 12点満点

①積算条件は現場に適合していたか

2点:1点:0点

- ☐ア. 施工方法や機械選定で現場に適合しないものがあった
- ☐イ. 資機材運搬で実態にあわない距離、方法になっているものがあった
- ☐ウ. 仮設計画で現場に適合しないものがあった
- ☐エ. 積算内容において、土質、地下水、家屋、交通規制、埋設物、架空線等の自然社会条件で、現場と整合しないものがあった
- ☐オ. 積算内容において、廃棄物処理、騒音、振動、粉塵、地盤等の現地条件で、実態と整合しないものがあった
- ☐カ. その他()

②工事に必要な工種等は全て計上していたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 工事に必要な工種で、計上されていないものがあった
- ☐イ. 工事に必要な仮設工で、計上されていないものがあった
- ☐ウ. 必要な安全設備、誘導員、足場、警戒船等の費用で適切に計上されていないものがあった
- ☐エ. 運搬費、土捨費用、産業廃棄物廃棄費用、重機輸送費、借地代等で、適切に計上されていないものがあった
- ☐オ. その他()

③歩掛りは適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 歩掛りの適用で、適切でないものがあった
- ☐イ. 施工時間制限、潮間工事などを考慮していないものがあった
- ☐ウ. 1日に実現可能な施工量と乖離するものがあった
- ☐エ. その他()

④単価は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 設計単価や見積単価で適切に設定されていないものがあった
- ☐イ. 市場単価を適時に設定していないものがあった
- ☐ウ. 特殊単価で見積額を公表していないものがあった
- ☐エ. その他()

⑤数量は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 現場に適合しないものがあった
- ☐イ. 「一式」など不明確な数量表示のものがあった
- ☐ウ. その他()

B 設計図書 4点満点

①設計図書等は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 現場と整合しない図面があった
- ☐イ. 積算と図面との間で整合しない箇所があった
- ☐ウ. 設計図書に不明確な表示や、寸法などの表記間違いがあった
- ☐エ. 特記仕様書において、支障物件等などの記載もれがあった
- ☐オ. 契約時に責任者の通知がなされなかった
- ☐カ. その他()

②設計図書に関する質問への回答は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 回答されない事項があった
- ☐イ. 回答のうち、的確でないものあるいは明確でないものがあった
- ☐ウ. 質問及び回答で、公開されないものがあった
- ☐エ. その他()

C 事前調整 8点満点

①用地取得などは終了していたか

2点:1点:0点

- ☐ア. 用地取得、境界問題などで、工事発注前に終了していないものがあった
- ☐イ. 用地取得、境界問題などで、特記仕様書に明示されていないものがあった
- ☐ウ. その他()

②関係機関との協議は終了していたか

4点:2点:0点

☐ア. 関係機関(国、県、市町村、警察、NTT、水道、電気、ガス等)の協議や手続き等で工事発注前に終了していないものがあった

☐イ. 支障物件対応で、協議が適切になされていないものがあった

☐ウ. その他()

③地元説明・調整は終了していたか

2点:1点:0点

☐ア. 工事内容や完成後の状況などについて、工事発注前に地域住民などへ十分説明されてなかった

☐イ. 騒音、振動、迂回路などについて、工事発注前に地域住民、教育施設、医療施設などへ十分説明されていなかった

☐ウ. 暴力団関係者、不当要求者、クレマーの情報が事前に提供されていなかった

☐エ. その他()

D施工方法 4点満点

①設計計画等は現場条件に適合していたか

2点:1点:0点

☐ア. 設計計画について、現場に適合していないものがあった

☐イ. 施工方法について、現場に適合していないものがあった

☐ウ. 仮設計画について、現場に適合していないものがあった

☐エ. その他()

②適正で安全な施工は確保されていたか

2点:1点:0点

☐ア. 設計計画や施工方法において、適正な施工や安全性の確保への配慮に欠けるものがあった

☐イ. 重機械の種類や規格の選択で、適切でないものがあった

☐ウ. その他()

E工期 2点満点

①適切な工期となっていたか

2点:1点:0点

☐ア. 工事内容に見合った工事日数となっていなかった

☐イ. 関連工事との兼ね合いが考慮されていなかった

☐ウ. 現場環境対策や地域住民との調整などに要する日数が考慮されていなかった

☐エ. 特殊資材の調達に要する日数が考慮されていなかった

☐オ. 突貫工事や仮設工事の増大を前提とした、不適切な工期となっていた

☐カ. その他()

F発注時期 2点満点

①発注時期は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 年度末完成工事で、発注時期が遅く、十分な工期が確保されていなかった
- ☐イ. 工事の内容や梅雨、台風、降雪、凍結、気温等の気象条件に照らして、発注時期が適切でなかった
- ☐ウ. 関連工事との兼ね合いに照らして、発注時期が適切でなかった
- ☐エ. 地元自治体やガス、電気、電話、交通機関などとの調整状況に照らして、発注時期が適切でなかった
- ☐オ. その他()

2. 契約の履行 32点満点

G協議など 14点満点

①協議等の手続き方法は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 指示、協議、通知、承認及び受理等で、文書に記録されなかったものがある
- ☐イ. 規定に定められた書類以外のものの提出を求められた
- ☐ウ. 発注者において作成すべき書類を作成させられることがあった
- ☐エ. その他()

②協議等の内容は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 発注者・受注者・コンサルタントの三者協議が設置されたが、適切に運用されなかった
- ☐イ. 監督員と監督員補助者間相互の連絡調整が不十分で、指示等に整合がとれていないものがあった
- ☐ウ. その他()

③協議等への対応は迅速・的確に行われたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 工事内容の変更等で、受注者と協議を十分行わないまま、手続きしたものがあつた
- ☐イ. 指示、協議、通知、承認及び受理等で、迅速・的確に対応されず支障が生じたものがある
- ☐ウ. ワンデイレスポンス、クイックレスポンスが適切に行われなかった
- ☐エ. その他()

④甲乙対等の立場で対応したか

4点:2点:0点

- ☐ア. 協議等において、高圧的な態度で接するなどパートナーシップの意識に著しく欠ける対応があつた
- ☐イ. 契約外の対応をするようにし向ける等、発注者の立場を利用した姿勢での対応があつた
- ☐ウ. 暴力団関係者、不当要求者、クレーマー等一への対応や解決をほとんど受注者任せにした
- ☐エ. その他()

⑤契約内容を遵守したか

2点:1点:0点

- ☐ア. 不算入(サービス)工事があった
- ☐イ. 設計計画と現場の不整合が発生した際、調査や設計のやり直しを強要された
- ☐ウ. 設計に計上されていない部分を、受注者の負担により施工させられた
- ☐エ. 品質確保の名目で、規定以上の対応を要求された
- ☐オ. 施工計画書の管理基準に記載した以上の管理を要求された
- ☐カ. その他()

H 契約変更 10点満点

①契約変更の手続き方法は適切だったか

4点:2点:0点

- ☐ア. 契約変更の内容で、合意がないまま一方的に決定したものがあつた
- ☐イ. 変更対象としなかったことについての説明で、妥当でない理由によるものがあつた

妥当でない理由の例

- | | |
|-----------------|------------------|
| ・設計変更手続きが困難である | ・会計検査への説明が難しい |
| ・増額限度の制約がある | ・質問状が入札前に出されていない |
| ・歩掛りがない | ・手続きが間に合わない |
| ・別の同様工事は変更していない | ・予算が確保されてない |

- ☐ウ. 工事が完成した後、契約変更手続に必要な以上の期間を要した
- ☐エ. 監督職員の変更に際し引き継ぎが不十分で、その後の協議等に支障があつた
- ☐オ. その他()

②変更契約の内容は適切だったか

4点:2点:0点

- ☐ア. 工事打ち合わせ、指示、協議に基づく事項で、変更契約に適切に反映されなかったものがあつた
- ☐イ. 施工方法の変更に伴うもので、契約金額に適切に反映されなかったものがある
- ☐ウ. 警察との協議の結果、交通整理員が増員させられたことに伴う費用の増加について、変更契約の金額に適切に反映されなかった
- ☐エ. 海上保安部との協議の結果、警戒船の配備が増加させられたことに伴う費用の増加について、変更契約の金額に適切に反映されなかった
- ☐オ. 物価の変動に基づくスライドの申し入れに対し、適切な対応がなされなかった
- ☐カ. その他()

③工事中止の手続きは適切に行われたか

2点:1点:0点

- ☐ア. 発注側の原因により工事が中断または工期延長となったが、「工事中止の手続き」がとられなかった
- ☐イ. 「工事中止」に伴う費用が、変更契約の金額に適切に反映されなかった
- ☐ウ. その他()

I 検査 8点満点

①検査方法は適切だったか

2点:1点:0点

- ☐ア. 書類検査、現地検査は、所用時間や手順が適切に取られなかった
- ☐イ. 重要な検査項目で、実施されなかったものがある
- ☐ウ. 規定された以上の過剰な検査書類を準備させられた
- ☐エ. 書類や工事写真について、電子データと重複したものや規定以上のものの提出を求められた
- ☐オ. 工事が完成した後、検査までに必要以上の期間を要した
- ☐カ. その他()

②検査内容は適切だったか

4点:2点:0点

- ☐ア. 検査職員の検査姿勢に、公平公正さに欠けるものがあった
- ☐イ. 検査職員の判断等に、主観的なところがあった
- ☐ウ. 協議のうえ施工したものについて、監督員から検査職員に対する確かな説明がなされなかった
- ☐エ. 検査職員と監督員との間に意見の相違があったため、不都合が生じた
- ☐オ. 手直し工事において、検査職員から契約上許容される以上の手直しを求められた
- ☐カ. その他()

③工事成績評価は適切に行われたか

2点:1点:0点

- ☐ア. 工事成績評価点は自己採点と大きな隔たりがあり、およそ公平公正な評価とは言い難いものがあった
- ☐イ. その他()

3. 監督員の対応 36点満点

※「2. 契約の履行」の項目と重複する内容があるが、ここでは「監督員」としての資質や能力、対応について評価する

J 技術力など 24点

①関係法令などを十分理解していたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 「建設業法」等に関連する法令等の理解不足により、不都合が生じた
- ☐イ. 「労働安全衛生法」等に関連する法令等の理解不足により、不都合が生じた
- ☐ウ. 「暴力団対策要綱」等に関連する法令等の理解不足により、不都合が生じた
- ☐エ. その他()

②必要な技術力を十分有していたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 当該工事に必要な技術的経験や能力の不足により、不都合が生じた
- ☐イ. 当該工事にかかる技術等の課題に対する調査検討の不足により、不都合が生じた
- ☐ウ. その他()

③判断力・指導力を十分有していたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 工事に関する説明や指導内容等において、不適切なものがあつた
- ☐イ. 技術的な判断や回答をコンサルタントに任せにするなど、対応に不適切なものがあつた
- ☐ウ. その他()

④契約の内容を十分理解していたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 契約約款、設計図書、仕様書、現場説明書の内容を十分理解していなかったため、契約を履行するうえで支障が生じた
- ☐イ. その他()

⑤設計・積算の内容を十分理解していたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 当該工事の設計の内容を十分理解していなかったため、不都合が生じた
- ☐イ. 当該工事の積算の内容を十分把握していなかったため、不都合が生じた
- ☐ウ. その他()

⑥施工計画・施工体制内容を十分理解していたか

4点:2点:0点

- ☐ア. 当該工事の実施工程を十分理解していなかったため、不都合が生じた
- ☐イ. 当該工事の施工計画の内容を十分把握していなかったため、不都合が生じた
- ☐ウ. 当該工事の施工体制を十分把握していなかったため、不都合が生じた
- ☐エ. その他()

K 対 応 12点満点

①契約履行における対応は適切だったか

6点:3点:0点

- ☐ア. 監督員としての職務に消極的で、前向きな姿勢が見られなかった
- ☐イ. 指示、協議、通知、承諾及び受理等の文書管理が適切になされていなかった
- ☐ウ. 「打合せ簿」「協議書」「段階確認書」等に対する回答が、確実には行われないことがあつた
- ☐エ. 品質確保等において、基準に準拠しない、不適切な要求や指示があつた
- ☐オ. 提出した施工計画書の管理基準以上の内容を求められることがあつた
- ☐カ. 地元住民の苦情等への対応について、受注者任せにするなど不適切なものがあつた
- ☐キ. 公的機関、市町村との協議について、受注者任せにするなど、対応に不適切なものがあつた
- ☐ク. 上司への報告などが円滑に行われておらず、発注者としての監督体制に問題があつた
- ☐ケ. 現場で臨検する服装(保護帽、安全靴、安全帯、救命胴衣等)について、安全上適切でないものがあつた
- ☐コ. 不当要求者、クレーマー等の情報提供が適切に行われなかった
- ☐サ. 監督員の変更に際し、後任への引き継ぎが十分行われてなかったため、支障が生じた
- ☐シ. 工期変更の取り扱いが、適切でなかった
- ☐ス. 設計変更手続きにおいて、数量や単価等の取り扱いで不適切なものがあつた
- ☐セ. 設計変更に関する協議において、対応が不適切であつた
- ☐ソ. 協議に対する回答が遅延したり、回答期日を明らかにしなかったりすることがあつた
- ☐タ. その他()

②対応はパートナーシップに基づくものだったか

6点:3点:0点

- ☐ア. 現場で発生した問題の解決に、必要以上に時間を要したり、受注者任せにしたりすることがあった
- ☐イ. 「打合せ簿」「段階確認書」等の取り扱いにおいて、回答が遅れるなどしたために、手待ちあるいは手戻りが発生した
- ☐ウ. 工法、構造変更の検討を業者任せにすることがあった
- ☐エ. 工事の変更に伴う協議の申込みに対し、速やかに対応しなかった
- ☐オ. 段階確認検査、立会検査の申し込みから実施までに、必要以上に日時を要し、施工の手待ちや手戻りなどの支障が生じた
- ☐カ. 当該工事の監督員の休暇、出張等に伴う代替措置について、適切な対応がなかった
- ☐キ. 受注者に対して高圧的な言動や態度で接することがあった
- ☐ク. 不当要求に対し、受注者任せにするなど、解決に向けた積極的な姿勢が見受けられなかった
- ☐ケ. ワンデイレスポンス、クイックレスポンスが適切に行われなかった
- ☐コ. 契約の内容や履行にかかる協議において、受注者の意見を聞かず、一方的に決定を下すことがあった
- ☐サ. 時間的な余裕が無い状況で、資料等の早急な提出の指示があった
- ☐シ. その他()

その他意見

発 注 業 務 評 価 表(総 括 表)

発注者・受注者間のパートナーシップ向上のために

登録 No □□□□□□□□

評価大項目	評価中項目	評価細項目	評価点	指 標
1 契約の内容 32点	A 積算内容 12	①積算条件は現場に適合していたか		
		②工事に必要な工種等は全て計上していたか		
		③歩掛りは適切だったか		
		④単価は適切だったか		
		⑤数量は適切だったか		
	B 設計図書 4	①設計図書等は適切だったか		
		②設計図書に関する質問への回答は適切だったか		
	C 事前調整 8	①用地取得などは終了していたか		
		②関係機関との協議は終了していたか		
		③地元説明・調整は終了していたか		
	D 施工方法 4	①設計計画等は現場条件に適合していたか		
		②適正で安全な施工は確保されていたか		
	E 工 期 2	①適切な工期となっていたか		
	F 発注時期 2	①発注時期は適切だったか		
小 計				
2 契約の履行 32点	G 協議など 14	①協議等の手続き方法は適切だったか		
		②協議等の内容は適切だったか		
		③協議等への対応は迅速・的確に行われたか		
		④甲乙対等の立場での対応したか		
		⑤契約内容を遵守したか		
	H 契約変更 10	①契約変更の手続き方法は適切だったか		
		②変更契約の内容は適切だったか		
		③工事中止の手続きは適切に行われたか		
	I 検 査 8	①検査方法は適切だったか		
		②検査内容は適切だったか		
		③工事成績評価は適切に行われたか		
小 計				
3 監督員 の対応 36点	J 技術力等 24	①関係法令などを十分理解していたか		
		②必要な技術力を十分有していたか		
		③判断力・指導力を十分有していたか		
		④契約の内容を十分理解していたか		
		⑤設計・積算内容を十分理解していたか		
		⑥施工計画・施工体制内容を十分理解していたか		
	K 対 応 12	①契約履行における対応は適切だったか		
		②対応はパートナーシップに基づくものだったか		
小 計				
合 計				